

令和4年度 海の京都の文化観光連携シンポジウム開催要項

- 1 目的** 文化観光は、文化資源の観覧や、それに関する体験活動等を通じて、文化についての理解を深めることを目的としています。しかし、それら文化資源の担い手はさまざまで、その歩みも、求めるところも軌を一にするものではありません。

地域社会の発展は、これらがいかに連携をして、好循環、善循環の大きな動きを創るかにかかっています。

違った歩みをするものが連携をすること、地域社会の発展という大きな目的のためには、手をつなぐ必要があります。

本シンポジウムでは、地域社会の発展のため、貴重な文化遺産である国指定文化財等が連携していかに文化観光にいかせるか、その推進を図ることを目的とします。

- 2 主催** 京丹後市教育委員会
京都府立丹後郷土資料館
海の京都 DMO

- 3 後援** 伊根町・伊根町教育委員会・京丹後市

4 日時・内容

(1) 第1部 3月4日(土)

時間 午後1時30分～3時30分

場所 丹後郷土資料館 定員30名

*京丹後市丹後庁舎 2階204会議室(パブリックビューイング) 定員50名

(2) 第2部 3月5日(日)

時間 正午～午後2時まで

場所 京丹後市丹後庁舎 2階204会議室 定員50名

*丹後郷土資料館(パブリックビューイング) 定員30名

5 内容

- (1) テーマ 「経ヶ岬灯台と伊根町の文化観光資産の魅力ー歴史的価値と持続的な観光活用に向けた取組についてー」

- (2) 趣旨 国の文化審議会が経ヶ岬灯台(京丹後市丹後町袖志)を重要文化財とするよう答申しました。灯台から3km南は伊根町です。こちらには伊根町伊根浦伝統的建造物群保存地区をはじめとするさまざまな文化資源があります。

これらをいかに連携して文化観光に、そして丹後地域の発展に活かしているか、その可能性を探ります。

(3) スケジュール

①第1部 3月4日(土)

開会、あいさつ

講演1 「経ヶ岬灯台の文化財的価値」

番光氏 文化庁文化財第二課調査官

講演2 「伊根町の文化観光資産の魅力」

吉田晃彦氏 海の京都 DMO 伊根地域本部事務局長

②第2部 3月5日(日)

開会、あいさつ

講演3 「現役の航路標識について」海上保安庁

討論 経ヶ岬灯台と文化観光資産の観光周遊活用について

パネリスト等

番光氏 文化庁文化財第二課調査官

海上保安庁

吉田晃彦氏 海の京都DMO伊根地域本部事務局長

山口圭一氏 経ヶ岬灯台保存会

小山元孝氏 福知山公立大学地域経営学部教授

令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウム

【第1部】

日時 令和5年3月4日（土）午後1時30分～3時30分
場所 京都府立丹後郷土資料館 定員 30名
(パブリックビューイング)
京丹後市丹後庁舎2階 204 会議室 定員 50名

講演1 「経ヶ岬灯台の文化財的価値」
番光氏 文化庁文化財第二課調査官

講演2 「伊根町の文化観光資産の魅力」
吉田晃彦氏 海の京都 DMO 伊根地域本部事務局長

【第2部】

日時 令和5年3月5日（日）正午～午後2時
場所 京丹後市丹後庁舎2階 204 会議室 定員 50名
(パブリックビューイング) 京都府立丹後郷土資料館 定員 30名

講演3 「現役の航路標識について」 藤島充良氏
元鳥羽海上保安部次長（現 四日市海上保安部職員）

討論 経ヶ岬灯台と文化観光資産の観光周遊活用について

パネリスト 山口圭一氏（経ヶ岬灯台保存会）
小山元孝氏（福知山公立大学地域経営学部教授）
番光氏
藤島充良氏
吉田晃彦氏



問合せ先 京都府立丹後郷土資料館 0772-27-0230
京丹後市教育委員会文化財保護課 0772-69-0640 (京丹後市丹後庁舎関係)

主催 京丹後市教育委員会・海の京都DMO・京都府立丹後郷土資料館

後援 京丹後市・伊根町・伊根町教育委員会

令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウム

経ヶ岬灯台（京丹後市丹後町）、伊根浦伝統的建造物群保存地区（伊根町）などの丹後地域の貴重な文化遺産を、地域が連携していくことにより、いかに文化観光に活かしていくことができるでしょうか。

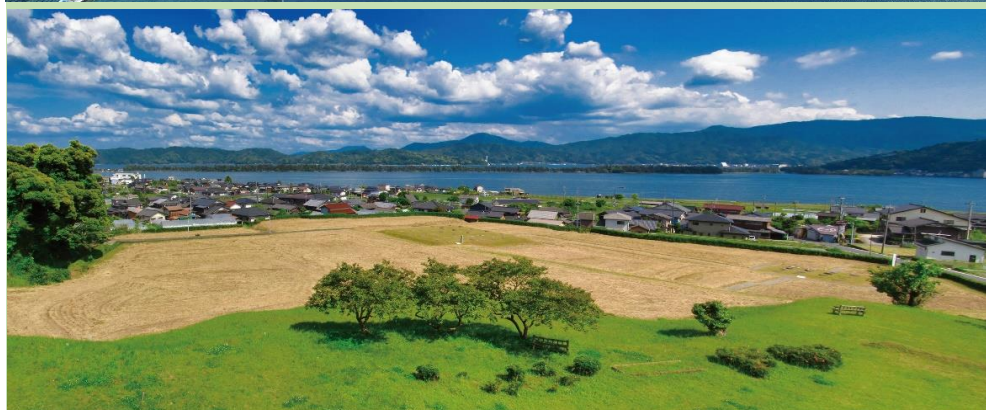
本シンポジウムでは、その可能性、将来像をさぐります。



経ヶ岬灯台（京丹後市）
（国の重要文化財の答申、
令和5年11月）



伊根浦伝統的建造物群保存地区
（伊根町）



丹後郷土資料館（宮津市）
からみた国の特別名勝天橋立

追加資料 京都府立丹後郷土資料館

行事のご案内

★文化財講演会

令和5年3月11日（土）13時30分から

「旧世屋・野間の人々の暮らしの中のいのり」

講師：小野康昭氏（元与謝野町文化財審議委員会 会長）

定員 30名

特別展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年ー」関連事業

★紙すき同好会作品展

令和5年3月23日（水）～4月2日（日）

場所：旧永島家住宅（当館敷地内）

宮津市畑の伝統的な手漉き和紙技術を継承し、30余年にわたって活動続ける会員の作品を展示します。（紙すき同好会＝丹後郷土資料館友の会サークル）